

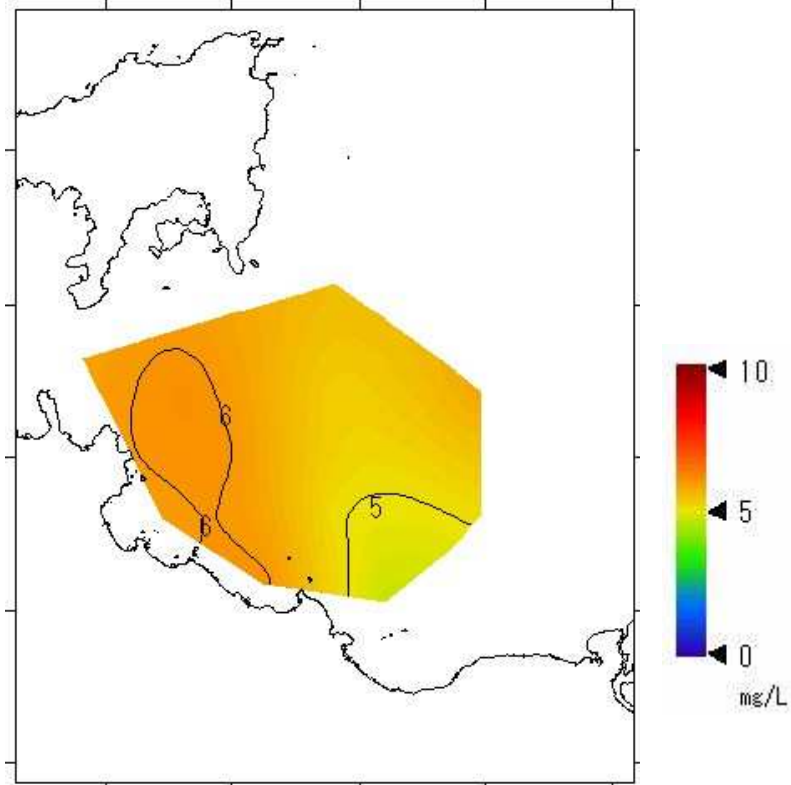
## 播磨灘貧酸素情報（第 7 号）

香川県水産試験場

### 10月6日観測結果

10月6日現在、海面冷却に伴う鉛直混合により、底層の溶存酸素濃度（DO）は全域で回復しています。今後も DO は高い値で推移すると感  
がえられます。本年の播磨灘の貧酸素情報は今回で終了します。

調査名：浅海定線調査  
測定方法：ウインクラー  
アジ化ナトリウム変法



底層の溶存酸素濃度

#### 溶存酸素濃度（DO）の目安\*

溶存酸素濃度	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

\* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。